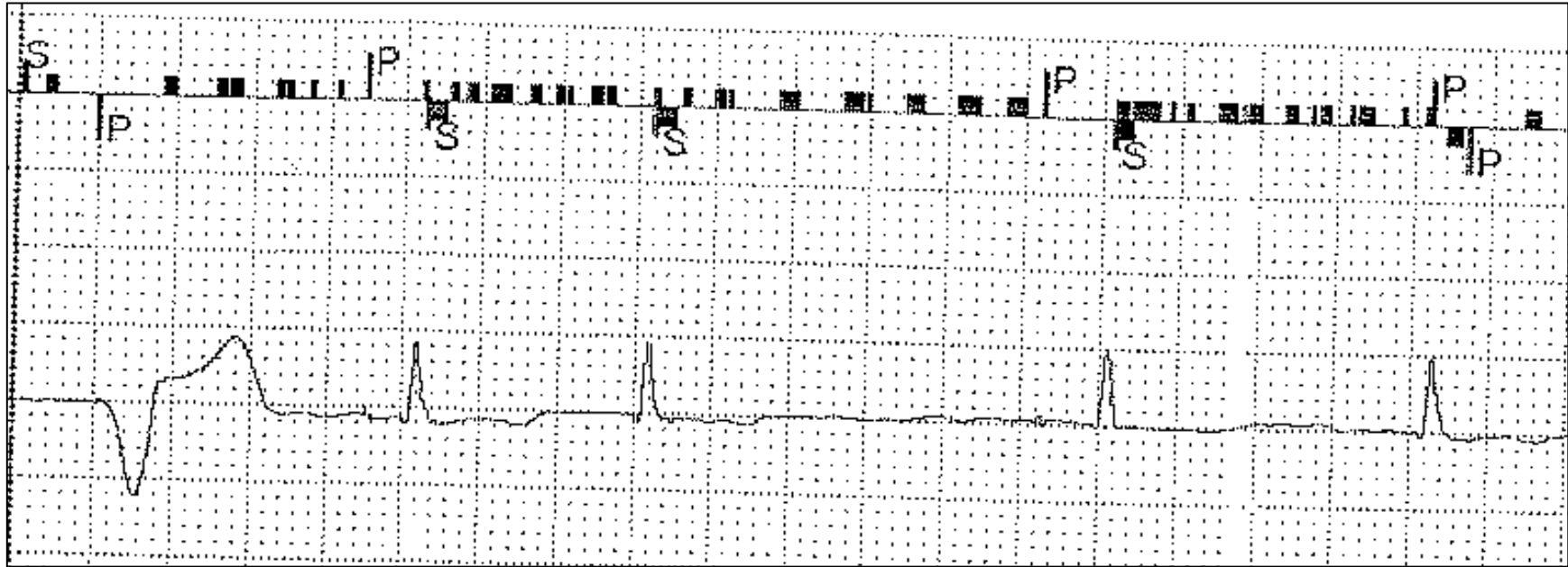


電磁干渉モードとなったPM



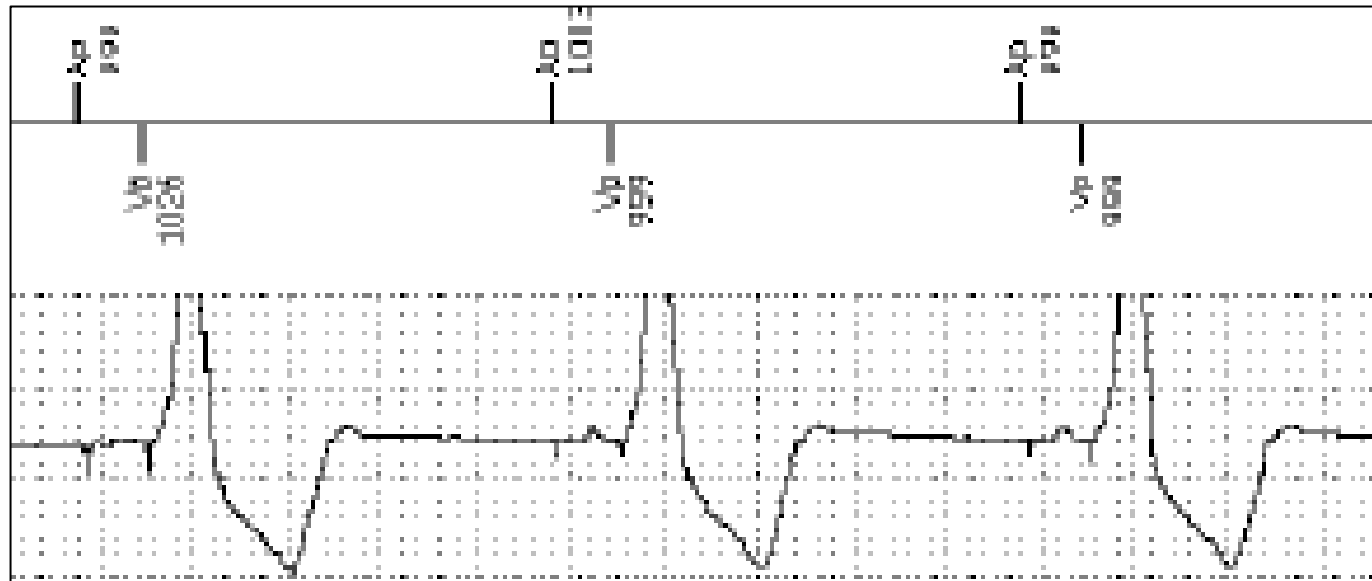
DDDモードが電磁干渉を受け、心房側が非同期動作となっている

手術時のペースメーカーの設定変更

- 電気メスの電磁干渉による影響があるため、植え込みデバイス患者の手術が行われる場合、術前にペースメーカーの設定を非同期モードに変更することがあります。

例) DDD → DOO, VOO
VVI → VOO

非同期時の心電図



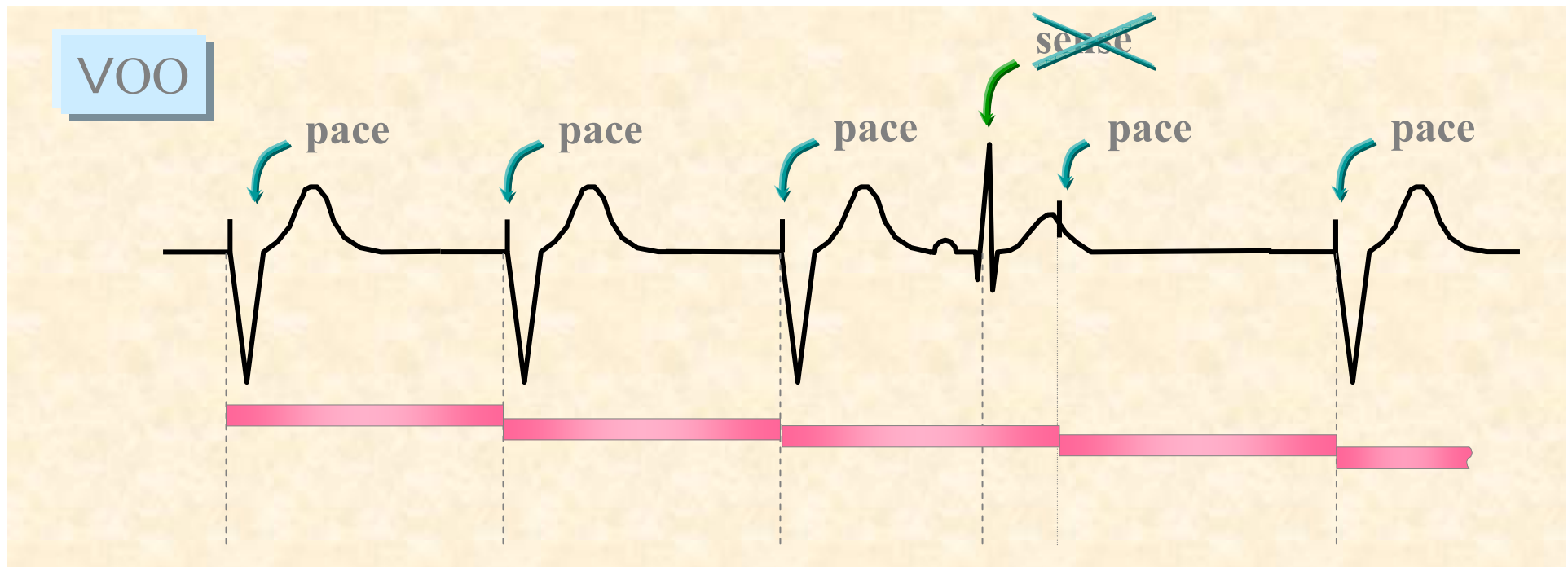
DDDモードでの心電図波形

非同期モードでの心電図の注意

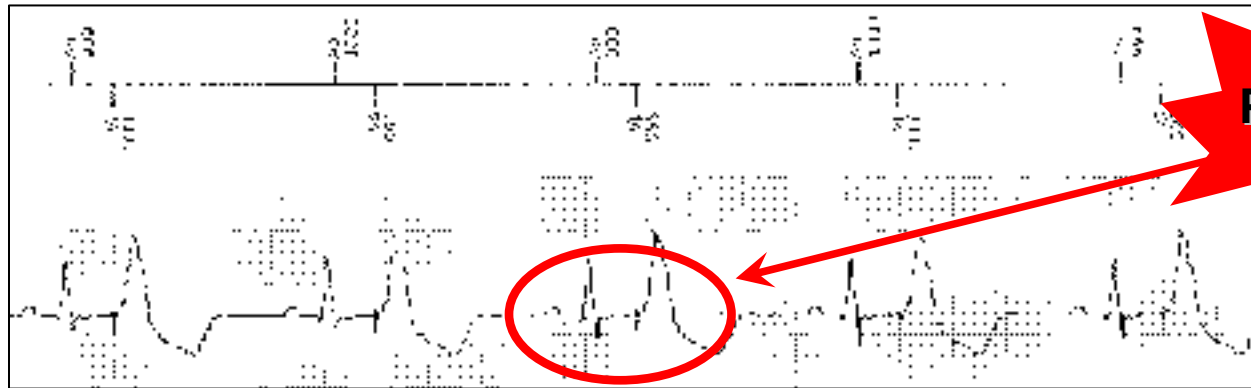
- ペースメーカを非同期モードに設定変更すると自己心拍があったとしても、それに対してペーシングを抑制せず、設定通りのインターバルでペーシングを打ち続けてしまいます。
- そのため、自己心拍のある患者さんに非同期モードを設定する時には設定レートを上げることなど注意が必要です。

非同期モード (VOO)

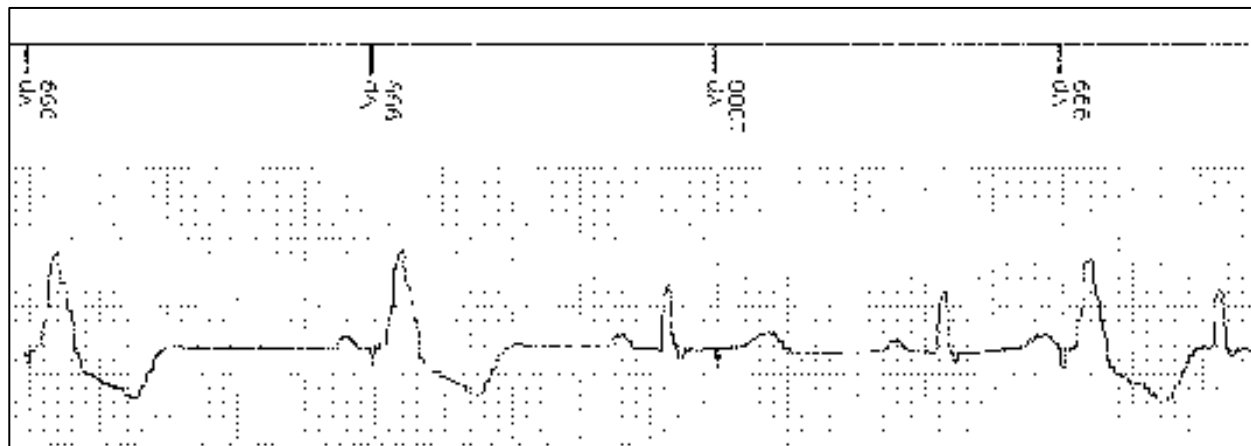
- 非同期モードとは自己心拍を確認せず、プログラム通りペースングを行うモードとなります。例として下にVOOモードを記載します。



非同期時の注意する心電図



自己心拍のある患者さんのDOOモードでの非同期心電図波形



自己心拍のある患者さんのVOOモードでの非同期心電図波形